

【事例17】

第4章 データに基づく保健事業の展開 - 3 重症化防止プログラム

レセプト・健診データの突合分析による糖尿病の重症化予防事業
(サノフィ・アベンティス健康保険組合)

○取り組みの背景および目的

サノフィ・アベンティス健康保険組合では、健診データを分析したところ、HbA1c 6.5% (JDS 値) (「血糖管理不十分」とされる水準) 以上の被保険者のうち、約3分の1が、HbA1c 8% (JDS 値) 以上の「非常に悪い状態」であることが判明した。

さらにレセプトデータと特定健診結果データを突合し、詳細分析を行ったところ、①医療機関への定期的な受診を行っていない、②せっかく治療を受けていても状態が改善せず治療効果が得られていないなど、適切な受診状況といえない者が散見されることも判明した。

この結果を重く受け止め、平成23年度より一般社団法人専門医ヘルスケアネットワークと連携し、血糖値が良好でない被保険者の血糖値管理に着目した事業を実施することを決定した。

表1. 経過および実施内容

実施年月	主な実施内容
平成21年4月	「健康企業」宣言 (図1)
平成22年11月	「健康推進センター(※)」設立
平成23年4月	上記の課題の判明をふまえ、副社長兼健保組合理事長が、社員に対し、会社として、健保組合と健康推進センターが連携して、糖尿病の適切な治療サポートを行うことを決定した旨のメッセージを送付
平成23年度～	「糖尿病治療サポート」実施

<p>「サノフィ・アベンティス(株)」は世界の人々に健康を提供する「グローバルヘルスケアリーダー(Global Healthcare Leader)」として、マネジメント・社員が一丸となって、すべての社員とその家族の心と身体の健康の保持・増進に取り組み、さらにサノフィ・アベンティス(株)の周りの人々の健康にも配慮する健康企業を目指します」</p>	
○3つのコミットメント	<ul style="list-style-type: none"> ・会社は、皆さんと皆さんを支えているご家族の健康保持・増進対策にコミットする ・社員は、自分自身の健康管理に積極的に取り組む ・私たちの周りの人々の健康にも配慮する
○4つのターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働の削減と休暇取得の促進 ・禁煙対策 (特定保健指導の推進やウォーキングキャンペーン) ・メンタルヘルス対策の充実 (メンタルヘルスマッチングの導入や組織ストレス対策の実施) ・禁煙を目指す社員のためのサポート等

図1. 「健康企業宣言」(平成21年4月1日;社名は当時のもの)

【事例17】

※健康推進センター：事業所で産業保健推進のために持っていた部門を健保組合が業務委託を請け負うかたちで健康保険組合内の組織とした。

○取り組みの内容

「糖尿病治療サポート」プログラムを、株式会社ミナケアの助言を受け、実施。

対象者の抽出

被保険者の健康診断結果データとレセプトデータにより、HbA1c 6.5%以上でかつ医療機関を受診していない、または医療機関を受診していても改善がみられない者を抽出し、これらの者に対して案内文を送付し、本プログラムへの参加希望を募る。希望者について、それぞれのかかりつけ医と連絡をとり、本プログラムへの参加の了承が得られた者を対象者とする。

実施

対象者の重症度や受診状況を考慮し、以下の2コースを設定して9ヵ月間サポートを実施する(図2)。

① 教育入院コース(高重症度向け)

順天堂大学医学部附属 順天堂医院への1泊2日の教育入院を一般社団法人専門医ヘルスケアネットワークに依頼。教育入院後、健康推進センターの専門スタッフ(保健師・看護師)による3ヵ月毎の保健指導。

② 定期検査報告コース(軽重症度向け)

3ヵ月ごとにかかりつけ医で受けた検査結果を報告してもらい、健康推進センターの専門スタッフによる保健指導。

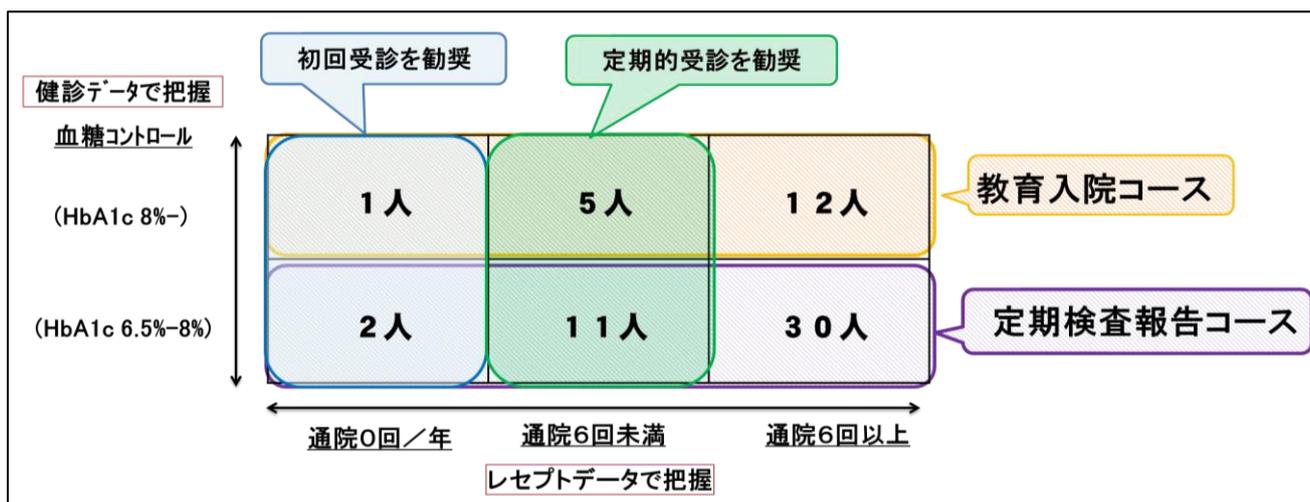


図2. 糖尿病サポート概要図

【事例 17】

○効果

平成 23 年度と 24 年度における教育入院コースおよび定期検査報告コースの参加人数は表 2 のとおりである。また、「糖尿病治療サポート」の参加者のうち、6 割が終了後の健診結果にて HbA1c の値に改善がみられた（図 3）。

表 2. 各コースの参加人数

コース	平成 23 年度	平成 24 年度
教育入院	10 名（1）	5 名（1）
定期検査報告	32 名（6）	30 名（3）
合計	42 名（7）	35 名（4）

案内送付者数：平成 23 年度…教育入院 11 名、定期検査報告 45 名

平成 24 年度…教育入院 9 名、定期検査報告 39 名

（ ）内は、対象者抽出時に医療機関へ未受診だった人数

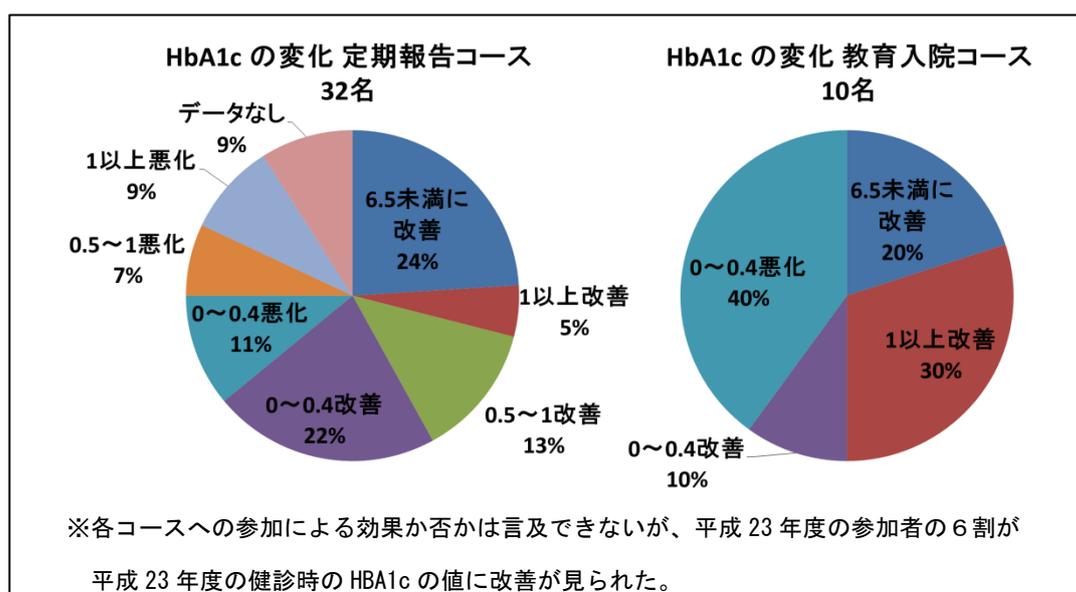


図 3. 「糖尿病治療サポート」プログラム参加者の HbA1c の変化（平成 22～23 年度）

○費用および財源

専門スタッフによる保健指導は、健保組合内の専門スタッフが実施し、初年度は 3 ヶ月毎の検査費用も健保組合が負担した。また、会社が前泊分の宿泊代、交通費等を負担し、教育入院の日が休日にあたる場合は、特別休暇を付与した。

○事業評価

教育入院により糖尿病の血糖、HbA1c コントロールの重要性、自分自身の生活習慣の課題を参加者が理解することはできた。しかしながら、その後、生活改善に実際に取り組んで行動変容し継続す

【事例17】

ることが困難である参加者がおり、HbA1cの改善に至らなかったケースも多くみられた。

本人がどれだけ、問題意識を持って行動変容に至るか、またモチベーションを継続できるかが根本的な問題であるため、本人の意識改革への働きかけが重要であると感じた。

○健保組合情報

- ・被保険者数（平成25年5月末現在）：3,836名（男性76%、女性24%）（平均年齢43.0歳）
- ・加入者数（平成25年5月末現在）：8,959名
- ・事業所数（平成25年5月末現在）：14
- ・保険料率（平成25年3月末現在）：73.0%
- ・支出合計（平成24年度決算）：約26.5億円（うち、保健事業費：10.3% 約2.7億円）
- ・業態：化学工業・同類似業